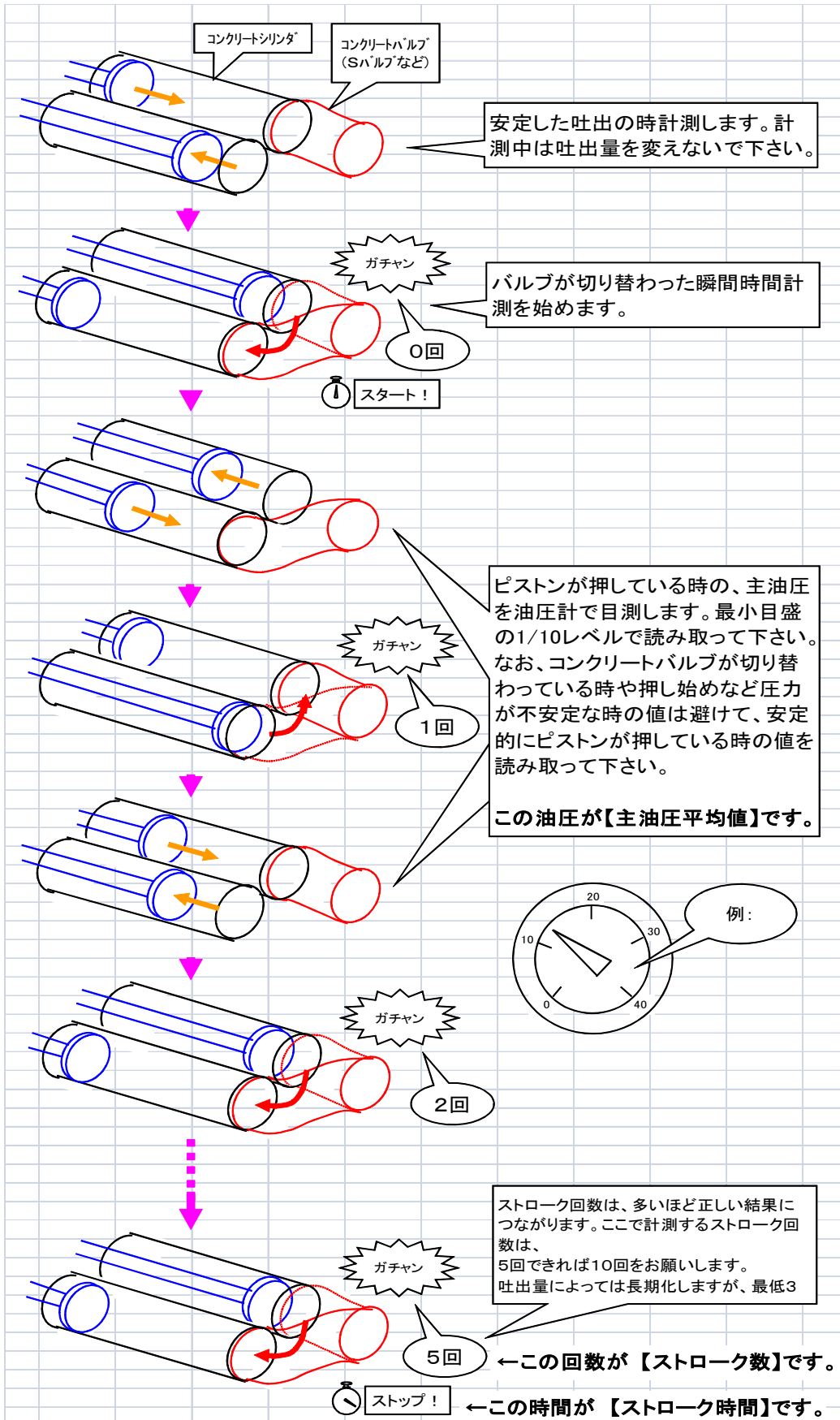


圧送データ測定手順

注意

- 別添の『圧送データシート』に各種データの記載をお願い致します。
- ポンプの機種によっては、コンクリートシリンダのサイズが複数設定されている場合があります。(8インチ、9インチ、200mm、220mm・・・など) これは、ポンプ車仕様の【コンクリートシリンダ径】の欄に記載願います。(必須) また、コンクリートシリンダのストロークについては、カタログや取説等で御確認頂けるとは思いますが、可能限【コンクリートシリンダストローク】の欄に記入願います。
- 【圧送仕様】の欄には、油圧システムの「標準圧送」、「高圧圧送」を記載願います。
- 測定結果の【時間(S)】は、【ストローク時間】を意味します。
- 測定結果の【測定主油圧(MPa)】は、【主油圧平均値】を意味します。
- ブームを使用された場合は、【boom使用の有無】の欄に「有り」と記入願います。この場合、boom先端のドッキングホースまでの配管に関しては、【配管状況】の欄への記載は不要です。(boom先端のドッキングホースよりも先の配管に関しては、記載願います。)
- 1回の計測では、K値算出が出来ません。吐出量を変えて、最低3回、理想は4回以上の計測をお願い致します。
- 変える吐出量の差は大きい程望ましいです。低速、中速、高速というように例えば、概ね $20\text{m}^3/\text{h}$ 、 $40\text{m}^3/\text{h}$ 、 $60\text{m}^3/\text{h}$ 、 $80\text{m}^3/\text{h}$ といった変化を持たせるとより正しい結果が得られます。無論、現場や筒先に許される範囲で結構ですので、可能限吐出量を変化させて計測願います。
- 計測中は吐出量を変化させないで下さい。

ストローク数および主油圧の測定イメージ



圧送データシート

年 月 日

概要

物件名	
所在地	
施工者	
ポンプ圧送業者	
生コン工場	
打設部位	
打設量(m ³)	
打設時間	

コンクリート性状

コンクリート種別	
記号	
スランプ(cm)	
スランプフロー(cm)	
空気量(%)	
単位容積質量(kg/ℓ)	

ポンプ車仕様

ポンプ車機種	
コンクリートシリンダ径	
コンクリートシリンダストローク	
圧送仕様	
ブーム使用の有無	
先端ホース径×長さ	

※配合報告書を別途添付

測定結果

No.	時間(s)/ストローク回数	測定主油圧(MPa)
1		
2		
3		
4		

圧送速度を低速、中速、高速等に変えて、
 (例 10m³/h、20m³/h、40m³/h、60m³/h等)
 且つストローク測定中は、圧送速度を一定にして、
 合計3回以上計測を行ってください。

<データシートご記入者>

会社名 _____

お名前 _____

TEL _____

※フレッシュ試験結果があれば
 良い。(目視でもOK)

配管状況略図
 (記入例参照)

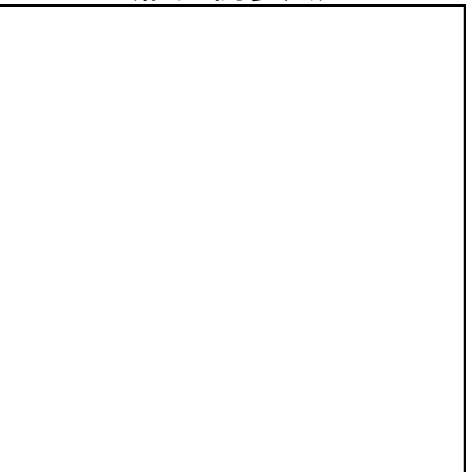
生コン車1台の生コン排出に要した
 ポンプのストローク回数

	生コン車1台 積載数量(m ³)	生コン全量打設に要した ポンプのストローク回数
1	m ³	回
2	m ³	回
3	m ³	回

配管状況

圧送高さ(m): _____

	地上配管		鉛直配管		打設階配管	
	125A	100A	125A	100A	125A	100A
直管						
バンド						
テーパ						
フレキ						



※管内圧力損失(K値)測定の為、
 圧送高さ、配管長さ等の配管状況
 が必要となります。

圧送データシート記入例

年 月 日

概要

物件名	〇〇新築工事
所在地	東京都新宿区
施工者	△△建設工業
ポンプ圧送業者	●●●工業
生コン工場	▲▲▲生コン
打設部位	地上躯体3階立ち上がり・4階スラブ
打設量(m ³)	180
打設時間	8時30分～16時20分(休憩11:45～12:30)

コンクリート性状

コンクリート種別	普通コンクリート
記号	24-18-20N
スランブ(cm)	18.5
スランブフロー(cm)	29.5×28.5
空気量(%)	4.2
単位容積質量(kg/ℓ)	2.241

ポンプ車仕様

ポンプ車機種	PY115A-26(極東)
コンクリートシリンダ径	8インチ
コンクリートシリンダストローク	1650mm
圧送仕様	標準圧送
ブーム使用の有無	有り
先端ホース径×長さ	100A×8m

※配合報告書を別途添付

測定結果

No.	時間(s)/ストローク回数	測定主油圧(MPa)
1	21.5/5	13.3
2	16.5/5	16.3
3	11.5/5	19.3
4		

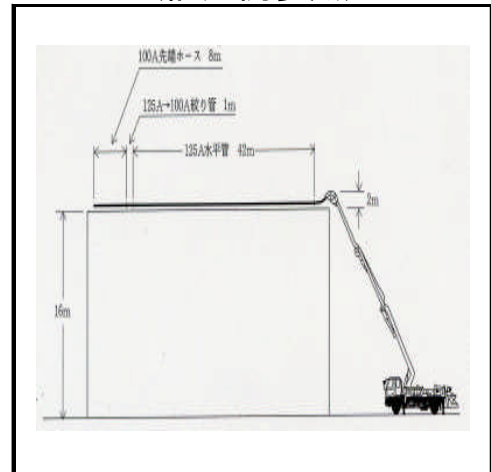
圧送速度を低速、中速、高速等に変えて、
(例 10m³/h、20m³/h、40m³/h、60m³/h等)
且つストローク測定中は、圧送速度を一定にして、
合計3回以上計測を行ってください。

<データシートご記入者>

会社名 全圧圧送(株)
お名前 全圧 太郎
TEL 03-3xxx-xxxx

※フレッシュ試験結果があれば
良い。(目視でもOK)

配管状況略図
(記入例参照)



※管内圧力損失(K値)測定の為、
圧送高さ、配管長さ等の配管状況
が必要となります。

生コン車1台の生コン排出に要した
ポンプのストローク回数

	生コン車1台 積載数量(m ³)	生コン全量打設に要した ポンプのストローク回数
1	4.5 m ³	92 回
2	4.5 m ³	93 回
3	4.5 m ³	91 回

配管状況

圧送高さ(m): 18

	地上配管		鉛直配管		打設階配管	
	125A	100A	125A	100A	125A	100A
直管					42	
バンド						
テーパ						1
フレキ						8